

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email:gakko@jpschool.cz

No.893 2017/8/23

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

いつでもどこでも勉強はおもしろい

(始業式での校長講話)

夏休みも終わり、いよいよ2学期がスタートします。先ほど、ようこそ集会がありました。今学期から11名のお友達が増えます。さて、夏休みが終わりましたが、みんなにとってどんなお休みでしたか。「良い夏休みを過ごした人は、がんばれる2学期を迎えられる」と1学期の終業式でお話したのを覚えていますか。自分にとって、どんな夏休みだったのでしょうか。とても良い夏休みを過ごしたってという人はどれくらいいるのでしょうか。

学校での勉強も大切ですが、夏休みのようなふだんの生活での勉強も大切だと考えています。驚いたり、感動したり、不思議に思ったりと、つまり自分の心が動かされることがあれば、それはふだんの生活の中での勉強なのです。教室の勉強もあれば、休み中のように自分で見つけたり興味を持ったりする勉強もあるのです。そして、どちらも勉強ですから、復習をしないと忘れてしまい自分の力になりません。この夏休みで、学校とは違う勉強をした人は、もう一度夏休みの生活日記を振り返って、驚いたこと、不思議に思ったこと、感動したことを振り返ってほしいと思います。それらは学校で勉強するのと同じくらい、自分のためになるものです。

先生は、夏休みはチェコとの出会いがたくさんありました。中でも、すごいなあと思ったのは、ロンドンで行われた世界陸上大会やり投げで36才のシュポタコバさんが金メダルを取ったことです。やり投げの世界記録保持者は男女ともにチェコです。歴史を振り返ると、私たちが気づかないところでチェコの人々が世界で活躍しています。というのも、チェコは1918年までオーストリア・ハンガリー帝国という国の中の一部で、チェコ生まれではなく、オーストリア・ハンガリー帝国生まれとされるので気づかないだけで、実はチェコ生まれで世界的に有名な人がたくさんいたのです。この国はハプスブルグ家の君主が300年も治めていたのですが、多言語多民族の国でいろいろな人々が集まり行き来をしていました。そんなに長い間、この国が豊かな文化と人材を生んだ秘密はいろんなちがった民族や言葉を認めていること、これを難しい言葉で言うと「多様性」、英語では「Diversity」と言いますが、そこにあると思っています。同じような人だけで集まるとうまくいって、ちがった人が集まるともめごとが起こる気がします。でも、人間が磨かれ高まっていくという意味では「考え方の違い」つまり多様性がないと、学校も社会もすべての組織は停滞してしまいます。ちがうからこそ、驚きや感動があります。これを学校では学びあいと言います。

2学期は、一番長い学期で行事も多い学期です。ぜひ、自分とは違う考えや意見にもしっかりと耳を澄ましてください。驚いたり、不思議に思ったり、感動したりする勉強はいつでもどこでも続いていきますよ。

＝夏季休業中の工事の経過報告＝

ガラスが割れても飛び散らないフィルムをすべての窓に貼りました。また、校舎の大きな入口には、緊急時には閉じるシャッターが設置されました。1階の地上の窓には素敵な窓格子をすべて設置しました。体育館前のプール跡地を改築して緊急時の避難場所にする工事と不審車両の突入を阻止するための校門の改修工事は、9月中旬には終了予定です。さらに、2学期中には、出入り口のドアの防弾化と電子警備化を進めます。

5年生以上の教室の施錠できるミニロッカーの設置は8月下旬となりました。



＝転入のお知らせ＝

小学部 1年	長尾	くん
2年	平石	さん
	前上	さん
3年	長尾	さん
4年	近藤	さん
	平石	くん
	屋根谷	くん
5年	近藤	さん
6年	安井	さん(予定)
中学部 1年	平石	さん
	屋根谷	さん